

学校だより



スクラム

校訓 洗心・奉仕・鍛錬
【学校教育目標】自ら学び続け、自ら成長する氷川っ子の育成

令和8年度
氷川中学校
令和8年9月1日
第5号 文責 田中宗徳

新学期のスタートと子供たちとの再会

学校再開



8月末撮影

本日、オンラインで始業式を行い、生徒の皆さんと再びつながることができました。被災の影響が残る中ではありますが、学校再開の第一歩として、みんなで力を合わせながら少しずつ日常を取り戻していきたいと思います。

町内では多くの家屋が被災し、親戚宅や避難所などで生活が続いている方々が多くおられます。生徒の中にも、こうした場所から登校している人がおり、慣れない環境での生活や、これからの不安を抱えている場合があります。学校では、担任との面談や個別支援、外部機関との連携、場合によっては家庭訪問等を通して、一人一人の気持ちに寄り添いながら新学期を進めてまいります。話したくないことは無理に話さなくてよいこと、ゆっくり自分のペースで学校生活に慣れていけばよいことを伝えています。

また、子供たちには、地域の方々や友達同士への思いやりの心をいつも以上に大切にしてほしいと願っています。避難されている方と会ったときの挨拶や、友達へのやさしい声掛けなど、子供たちの小さな行動が誰かの力になることがあります。学校としても、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

保護者・地域の皆様、ボランティア団体の皆様方には、学校再開に向けて多くのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。今後も子供たちの成長を支えるため、学校・家庭・地域が力を合わせて歩んでいきたいと思ひます。

安全な登下校のために

登下校については、余震の可能性に加え、道路工事や建物の解体作業が進んでいるため、通れる道・通れない道が日々変わっています。8月28日（金）の安心メールでもお伝えしましたように、保護者の皆様からいただいた情報と、職員による通学路調査の結果を基に、お子様と一緒に安全な経路を確認していただき、ご家庭でも安全に登下校できるよう今後も声掛けをお願いいたします。

また、登下校中に揺れを感じた場合は、倒壊の恐れがある塀・電柱・建物から離れ、しゃがんで（前回のような大きな揺れでは転倒して怪我をする場合がありますため）、揺れが収まるのを待つようご家庭でもお伝えください。揺れが収まった後は、近くの広場や公園、ないときは周りを見渡して安全な場所へ避難するようお願いいたします。

徒歩での登下校が困難・心配な場合は、車でのご送迎をご家庭で検討・判断していただけたらと思います。送迎の際は、JA駐車場（砂利部分）をご利用ください。

なお、安心メールでもお知らせしましたとおり、学校においても、本日（9月1日）、全校生徒へ安全指導を行っております。子供たちが安心して学校へ向かえるよう、学校としても引き続き安全確保に努めてまいります。



通学路調査



学校到着後は

自転車置き場から教室棟への
渡り廊下も修繕済み

震度 7 地震直後の氷川中学校



石碑の倒壊



←【石碑】「燃えろ健児（女子ハンドボール全国大会優勝）の碑」など、石碑がいくつか倒壊しました。先輩方の栄光を湛える碑ですので、早く修繕ができるといいです。しかし、町内墓地の石碑や台石も多くが倒壊している現状であり、修繕していただくまでは時間がかかりそうです。

【体育館】地震発生後は、校内もいろいろなものが移動しましたが、現在避難所の体育館も、ステージ下の台車が全て飛び出していました。 →



体育館中央付近まで台車が移動



地割れ

←【運動場】これは野球場の所です。あちらこちらで亀裂がありました。



窓ガラス破損

←【体育館】

窓ガラスの破損や体育館側面の壁板落下の危険性がありました。

側面の壁板については、避難所が体育館へ移転する前に修繕できました。

←【校外（焼却炉）】

自転車置き場横の焼却炉（現在は使用していません）が道路側に倒壊。2次被害（交通事故）を防ぐため、職員で応急処置（フェンス側へ寄せる）した後の様子。



家庭科室

←【特別教室（家庭科室）】家庭科室ではお皿が割れたり、理科室では薬品が零れたり、どの教室もすぐには使えない状況でした。



焼却炉



職員室

←【職員室入り口】

職員室入口付近では、複数の書棚が倒れ、スライド扉のガラスも割れており、非常に危険な状態でした。入室する際も、倒れた物を避けながら慎重に進まなければならない状況でした。職員室内の机は大きく移動し、各教室の机も同様に大きくずれており、物品が激しく散乱していました。（※個人名が判別できる資料等が多数散乱していたため、教室内の写真は掲載していません。）

学校再開に向けて

上記以外にも、校舎内外にたくさんの被害がありました。学校再開に向けて、片付けや清掃、災害ゴミの運び出しなど、職員作業で、毎日少しずつ復旧作業を行い、9月1日（火）子供達を迎え入れることができました。明日からは、簡易給食もあります。



災害物運び出し



家庭科室（一部屋ずつ）片付け

夏休み中の氷川中学校の様子

避難所は8月24日に体育館へ移転



避難物資受入れの様子



体育館冷房設置

氷川中学校は、地震発生の日夕方から避難所として開設されました。教室は避難スペースとなり、昇降口では各地から届けられた物資や食料が配付されました。体育館には冷房設備が整えられ、敷地内にはお風呂やシャワーが設置され、全国各地からキッチンカーも来てくれました。避難者は多いときで約120名、物資の受け取りやお風呂などの利用者を合わせると、1,000人を超える日が何日もありました。高市総理や金子大臣、小泉大臣、松本大臣、津島副大臣など国のトップの方々をはじめ、くまモン、芸能人、過去の被災地でお世話になったと物資を届けてくださった方々など、多くの皆さまが応援にきてくださいました。氷川中に人々が集う状況の中で、たくさんの元気をいただきました。ありがとうございました。



キッチンカー



お風呂・シャワーの設置



連日、運動場には多くの車が駐車